

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「経営革新手法モデル構築」事業
事業主体 (連絡先)	佐久ものづくり研究会 佐久商工会議所内〒385-0051 佐久市中込 2976-4 tel0267-62-2520
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 エ 商業の振興 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,417,752円

事業内容

現在、企業経営において、企業の成長力の源である付加価値を上げるには、6σ（シックス・シグマ）など経営革新手法があるが、大手企業向けの手法になっており、専門家の指導の下、長い時間と高いコストを掛ける必要があるが、中小企業がそのまま導入するには、かなりハードルが高く、取り組むことが困難になっている。

そこで、佐久地域の中小企業でも導入できるように、分野毎のグループ企業を5社選定して、具体的に解決に導く中小企業にも応用・展開できる「共通のツール」を用いて各企業が現時点で抱える経営課題について応用適用して、次年度以降に企業が自ら活用実施できる「モデル」を幅広く地域企業へ提供することで、地域企業の活性化・雇用創出につなげるシステムとして構築することが目的である。



事業効果

延べ参加者数 291 名（受講者数：延べ 233 名、指導者数：延べ 58 名）が、地域企業活性化「モデル」構築のために、本事業 10 回での新手法を用い自社課題解決に参加し佐久型経営革新モデルを構築できた。

本事業での個別効果として①「工数削減による利益創出」では、パレート分析やマトリックス図法で、重点機種の効果の大きいところに集中して対策し、さらに他機種への水平展開を図ることにより目標の 1.5 倍もの成果を達成。②新製品開発戦略の構築では、“品質機能展開（QFD）手法を導入して、新製品開発戦略を構築すること”を目標として活動を進め、企画原案にはない新たなマーケットにおける売上の増加を見込むことができた。③製造原価低減では、ポール製品の売上上位機種、原価構成の大きいところにターゲットを絞った削減検討を行い、さらにその成果を他機種に展開することにより目標（3%削減）以上の原価低減（5%）の見込みが付き、同時に原価も 8%改善、新製品販売の利益を確実なものにできた。

【目標・ねらい】

企業付加価値・利益確保

- 経営課題解決能力スキル向上
- 新手法で課題分析スキル向上
- 改善効果を金額換算スキル向上

今後の取り組み

※2 自己評価（事業効果）【 A 】

構築した佐久型経営革新モデルを使って、平成27年度は企業自己負担による佐久企業への水平展開及び導入企業の更なるスキルアップを図る。

佐久型経営革新モデルの骨子は、専門家派遣事業等を活用。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ① テーマ設定、新手法概要説明、②現状分析、③分析結果から課題内容解析、④課題内容解析ブラッシュアップ、⑤課題解決策検討指導、⑥課題解決策ブラッシュアップ・解決内容を金額換算。

※1 自己評価(事業実施率)欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価(事業効果)欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある